

8部

通信制大学院コーナー

【本コーナー以外のご参照ページ】

＊学習相談・自習室について p. 6

＊仙台駅東口キャンパス他のご案内 p. 43

＊卒業式（学位記・卒業証書授与式）について p. 46

1 // 今年度修了希望の方へ

●修士論文・口述試問

- (1) 修士論文の提出は、1 / 22午後4時が締め切りです。
- (2) 口述試問の日程は、郵便で1 / 26頃発送予定です。口述試問は、修士論文の最終試験となり日時等の変更はできません。
- (3) 3 / 15修了者の発表は3 / 1 発送予定。
※電話での問い合わせには一切応じられません。
※学位記・卒業証書授与式のご案内を同封します。
※3 / 31の修了者は、出席できません。

【学位記・卒業証書授与式 3月15日(金)】

13 : 00～ 学位記・卒業証書授与式（国見キャンパス「福聚殿」）
（通信教育部・通学課程と合同→本冊子 p. 46参照）

●修士論文要旨集について

- (1) Web公開用「修士論文要旨」提出締切日：2 / 3
- (2) 提出先メールアドレス：mr@tfu.ac.jp
- (3) 執筆要領は、『通信制大学院ガイドブック2022』 p. 82参照

●レポート

- (1) 課題レポート提出は、2023年11月30日で終了。

(2) 在宅試験レポート最終提出締切日：1/18（結果通知：2/18予定）

●各種証明書

- (1) 修了証明書および単位修得成績証明書（今年度の単位修得科目を含む）は、修了日（3/15 or 3/31）以降の発行。
- (2) 申込方法は、修了確定の通知後『通信制大学院ガイドブック』巻末様式「各種証明書申込書」に必要事項を記入し、発行手数料（定額小為替証書）と返信封筒（長形3号・宛名明記・切手貼付）を同封のうえ郵送でお申込みください。

※切手料金：1～2通は84円、3～4通は94円をご用意ください。

2 / 来年度(2024年度)修了希望の方へ

●福祉心理学専攻・2022年入学の社会福祉学専攻（旧カリキュラム）の方 ・修士論文の指導

基本的な論文の書き方や方法論について理解が十分でない方は指導を受ける前にしっかりと身につけてください（『通信制大学院ガイドブック』2023版 p. 68、2022版 p. 65参照）

- (1) 指導方法は、通信指導と面接指導の2通りあります。
※詳細は『通信制大学院ガイドブック』2023版 p. 77～78、2022版 p. 72～73参照。
- (2) 初回の指導は通信指導をお勧めします。面接指導は事前準備に左右されるため通信指導を面接指導準備と考えてください。
- (3) 面接指導の方法は、リモート1～2回程度と来校1～2回程度の合計3回以上受けることが必要。

※リモートと来校の回数は担当教員と調整。

※頻繁なリモート使用はお控えください。

- (4) 初回の指導では、同項(5)で生じた疑問点などを含めて通信指導を受けられることをお勧めします。
- (5) 論文の構想を立てるにあたって、研究の目的や枠組みなどを明確にするために、可能な限り多くの先行研究や関連する文献などを読み進めるとよいでしょう。論文の構想はとても大切ですので十分に準備してください。論文を完成できるか否かは、構想によって決まるといっても過言ではありません。

・修士論文作成

- (1) 修士論文作成許可（3月末通知予定）後は、構想レジюме・第1回中間レジюме・第2回中間レジюмеの提出が課せられています。
※『通信制大学院ガイドブック』2023版 p. 74～76、2022版 p. 68～71をお読みください。
- (2) 最初に提出するレジюмеは、毎年5月を締め切りとする「構想レジюме」 ※来年度の「構想レジюме」提出締切日：5/17
- (3) 各レジюмеは、提出前に指導教員から指導を受けることが望ましいです。※提出者分のレジюмеを冊子にし、提出された方全員と特別研究（修士論文）科目担当教員へ配布します。ご自身の研究を発表する場とお考えください。
- (4) 構想レジюмеについては来年度変更がありませんので、現在お手元にある『通信制大学院ガイドブック』、2023版 p. 74・75、2022版 p. 69・70 [構想レジюме] [レジюме提出方法] [レジюме執筆要領] を参考にし、必要な内容について把握し計画的に進めてください。

●授業科目の単位修得

- (1) 今年度の課題レポートの提出は1/9で終了。締切後提出された課題レポートの科目は来年度以降の修得となります（再提出レポートも同様）。
※スクーリングが1月以降の科目や教員から個別の指示がある科目は、担当教員の指示に沿って提出してください。
- (2) 第4回在宅試験レポート提出締切日：2/19（結果通知：3/19予定）（締切に間に合わなかった場合は、来年度の第1回在宅レポート試験に含まれます。）
- (3) 今年度の「履修状況通知票」送付は、2024年3月末。
- (4) 来年度の修士論文作成許可通知は、2024年3月末発送予定。
※作成許可については、『通信制大学院ガイドブック』2023版 p. 73～74、2022版 p. 68をお読みください。

3 修士2年次への進級手続き (在籍継続手続き)

●進級手続きの流れ

- (1) 来年度学費振込依頼書の送付：2/28予定（納入期限：3/31）
 - ・来年度学費は36万円（授業料30万円・施設設備費5万円・厚生費1万円）。
 - ・郵便局より納入してください。金額30万円以上の振込はコンビニ納入取扱不可となります。
- (2) 補助教材の送付
 - ・学費納入確認後、4/1より『科目別ガイドブック2024』『履修希望科目登録用紙』『宅配便宛名用紙』など副教材を送付。
- (3) 履修登録（提出期限：原則4/11必着）

- ・期限までに「履修希望科目登録用紙」「宅配便宛名用紙」を提出。
- ・今年度の履修登録科目は来年度も有効です。あらためて履修登録する必要はありません（新たに学びたい科目のみを登録してください）。
- ・来年度は履修登録をせず、これまでの履修登録科目のみを継続学習することも可能です。新たに履修登録しない意思を明記し履修登録用紙を返送してください。

(4) 教科書の送付

- ・履修科目の教科書は4月下旬から発送開始。

●新年度の履修登録について

- (1) 修了要件は、入学年度の『通信制大学院ガイドブック』記載のとおり所定の授業科目について各専攻の条件を満たしつつ30単位以上修得、修士論文を提出し合格することが必要。
- (2) 授業料の枠内で修了までに履修できる単位数は40単位。41単位以上履修する場合は、超過単位履修費（1単位あたり2,500円）が必要。
- (3) 履修登録している単位未修得科目は、来年度学費を納入すれば継続して履修できます。次年度に新規登録する必要はありません。今年度の教科書は来年度も有効です。
- (4) 履修登録している単位未修得のSR科目は、スクーリング受講年度の事前課題・事後課題に取り組むことが必要です。
- (5) 履修登録している単位未修得のR科目は、今年度のレポート課題が来年度も有効です。ただし、今年度の課題が来年度変更された場合は、変更後1年間のみ今年度の課題でのレポート提出を認めます。
- (6) 2023年度の「履修状況通知票」は3月末発送予定です。

●学籍継続者について

在籍が3年以上となる方の手続きについては、2年次への進級と同様です。

●休学希望者について

来年度休学希望の方は『通信制大学院ガイドブック2022・2023』巻末の様式5「休学願」を3/14までに提出してください。休学承認の通知後、休学費振込依頼書を送付します。休学費18万円の納入が必要となります。

※2/28送付予定の来年度学費は納入しないでください。

※3/15以降に「休学願」到着の場合、承認通知日が4月以降になります。

※休学は1年単位（4/1～3/31）となります。復学は2～3月に手続きし2025/4/1からとなります。

※休学中は、レポート提出や在宅レポート試験提出、スクーリング受講はできません。